

淀川水系の河川整備に関する技術検討会

設立趣意書

淀川水系の河川整備については、河川整備計画の策定から約 10 年が経過し、整備内容が進捗してきた一方、平成 30 年 7 月豪雨や令和元年東日本台風をはじめ、全国的に水災害の激甚化が顕著になってきている。

国においては、「淀川水系における中・上流部の河川整備の進捗とその影響の検証にかかる委員会」が開催され、今後の河川整備の方向性などが議論された。また、令和 2 年 7 月には「淀川水系関係 6 府県調整会議」が設置され、淀川水系の更なる河川整備の方向性を調整するための意見交換会が行われることとなった。

このため、京都府として、淀川水系の更なる河川整備の方向性を検討するにあたり、全国の治水対策や気候変動の影響について知見を有する専門家からなる本技術検討会を設立するものである。